

ひだまり

第21号

発行日 平成24年3月31日
発行 松風台社会福祉協議会

第9回福祉講座

介護保険と地域包括支援センター

「あかね」の役割

2月4日(土)午後1時半から自治会館集会所で「あかね」主任介護支援専門員の横濱寛之氏による講演が行なわれました。

平成12年4月から介護保険制度が始まり、私たちは保険料を払っているが、上手に利用するためにはどうしたらよいか、心構えができる内容でした。介護の支援を受けたとき、市の窓口申請し、介護認定審査会を経て、実際に必要な介護が受けられるまで30日程度かかるそうです。突然必要になって、待てないケースも多いと思われれます。また、必要な介護は千差万別。そんなとき、「あかね」では、一人ひとりに適した利用の仕方のアドバイスも受けられるそうです。

自治会員の中には、すでに保険を利用しているという方もあると思いますが、窓口書類を提出するまえに、「あかね」に問い合わせるとうよいでしょう。

当日の参加者は26名でした。

(編集委員・和田記)

子育てサロン「まつぼっくり」スタート

(松風台社協馬瀬会長と

スタッフのみなさんに聞く)

昨年10月から松風台社協事業として子育てサロン「まつぼっくり」がスタートした。ゼロ歳児から2歳児くらいの乳幼児を対象に、現在10組ほどの親子が登録している。

目的は、①子育て中のお母さん同士の情報交換・交流の場、②遊び場所の提供、③子供たちの遊びを通しての学びの場など。

スタッフの皆さんからは「子育てで孤立しないようまず出てきてほしい」、「みなさんが待っていたという感じで多くの人に来てくれて驚いて



いる」、「月2回開いているので、時間内いつでも自由に来てほしい」とのこと。

「予防接種のことや病院などの情報交換、そして何よりも私が話をしたかった」と赤ちゃんを抱っこしたお母さん…

まず一歩入って感じたことは温もりと優しさ。床にはコルクが敷き詰められ、ぬいぐるみや様々なおもちゃに子供が戯れている。赤ちゃん、お母さん、スタッフ皆がくつろぎ、おしゃべりをしていく。一度ぜひ体験してみたい。 (編集委員・小山記)

○開設 毎月第1第3火曜日

10時～12時30分

○場所 自治会館集会所

○利用料 1回50円

(保険料を含む)

○スタッフ急募中

会場セッティングスタッフ

(特に男性の力)を求む。

連絡

高辻

西谷

ほっとサロン

地域の「憩いの場」としてオープンした「ほっとサロン」も、たくさんの方に利用していただけるようになりました。待ち合わせでコーヒーを飲みながら将棋をされる方、体操の後に「ほっと一息」、お一人でぶらりとコーヒータイムに、グループや自治会の打ち合わせにと、利用の形は様々です。散歩のついでにお立ち寄りください。

毎月第2・第4水曜日 13時～15時
自治会館集会所

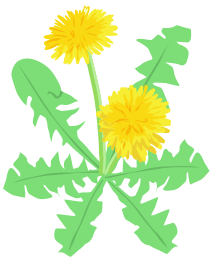
代表 磯野留美子（ ）

「こんにちは、民生・児童委員です

有元 佳子

3・11大震災から「絆」という言葉が大切になりました。私たち民生・児童委員も地域全体のきずなを信じて、思いやりの心で福祉のまちづくりを広げようと行動しています。「ちよつと困ったことがあるんだけど」と思うとき、例えばご家族の介護のこと、一人暮らしで心細い、福祉サービスの制度がわからない、病気で困っているなど、お力になれるかもしれません。身近な3人の民生・児童委員に連絡してみてください。

有元 佳子（ ）
伊藤 和子（ ）
山口 正美（ ）



Menu

コーヒー・紅茶…… 50円
緑茶……………無料
共にお菓子付き

ゆめクラブ 松風会 35周年を祝う

今年度の松風会も歩こう会や旅行、卓球など多くの活動を活発にされてきた。特に今年度は35年の節目の年、9月11日には「35年誕生会」を開催した。松風台自治会の会長さんやメンバーの方々39人が参加され、段ボールで作った太鼓の演奏や余興を楽しまれたとのこと。

また、昭和51年からの記録を詳細にまとめた記念誌「松風会の歩み」も発行された。

現会長の田中利子さんは今期で会長を辞されるということで、今のお気持ちをうかがうと、「一番嬉しかったことは35周年ができたこと、いろいろな人と知り合えて…みなさんのおかげです」と言われた。田中さんは知る人も多いが甘沼にお住まいである。接していると松風台の皆さんがどれだけ信頼し頼りにしているかがよく分かる。編集委員が代弁させていただきます。「会長さんお疲れ様でした。お世話になりありがとうございます。これからもおからだお大切に、一層松風会でエンジョイしてくださいね。」（編集委員・小山記）

青春がよみがえる歌の街

田中 久夫

歌の街の世話役になって2年。最近、常連が増えてきていますが、新しい人も、時折顔を出します。歌好きの人が集まっているためか、どの曲も歌えますし、その声は、青春時代そのものです。顔を見ますとおじいちゃん、おばあちゃんばかりですが、休憩時間には、世間話に花が咲き、さながら社交場にもなります。

大きな声を出すのは、健康にも良いし、何よりも解放感が味わえる良さがあります。皆、若者に戻った顔で家路をたどるのを見ると、歌の効果は絶大です。参加費百円ですが、のどを潤すため、冷たいお茶も出ます。ぜひあなたも月一度（第2日曜日、10時）、「青春時代」にもどってみませんか。

松の実会



心身の健康維持…人と会い、積極的に物事を楽しむ

机の整理をしていたとき松の実会の古い会員名簿が出てきた。平成6年のもので、会員総数38名。懐かしい名前が並ぶ。

民生委員の呼びかけで始まったこの会も、その後介護保険ができて少しずつ変わり、今は私たちも楽しみながら携わっているが、皆さんの目にはどのように映っているのだろう。

H氏は92歳、最初からの会員で、今も元気に毎月休まず出席される。「ここへ来て、みんなと会い、話をするのが楽しい」と何事も積極的。

また、3年前に入会のひとり暮らしのT氏75歳は「ここへ来て救われた」と、ちよつと大仰だが今は明るい。

そうした方々をみていて、生活面はもちろんだが、人と会い、進んで物事を楽しむことが心身の健康につながることを実感する。

ますます進む高齢社会に、老人自らも健康維持に努力しており、そのためにも、こんな集まりも大切ではないかと思っている。

近年、サポート役も高齢になり、新たな助っ人をひたすら待っている。

(綿貫 悦子)

連絡先

有元

こどもがい

活動を見直す時期・・・？

私たち親世代が小学生だった昭和50年代、松風台子ども会は最盛期には三百人を超える会員を抱え、宿泊を伴う活動を行なうなど、大変活発であったと聞いております。

当時子ども会に携わった方々からご覧になれば、会員数15名という数字や数か月一度の行事しかない現在の状態は歯がゆく映ることでしょう。少子化もその原因ではありませんが、松風台に全く子どもがいけない訳でもないのです。小学生の3分の2が「子ども会に入らない」という選択をしている現状があります。

その背景には、地域の行事に参加するより個々の家庭で好みのレジャーを楽しむ習慣の一般化、専業主婦の激減、肝心の子供自身が習い事で週末も忙しいなど、子ども会を取り巻く環境の変化があります。会員数の減少は、そのまま現会員の負担増につながり、活動を縮小せざるを得なくなります。魅力ある活動を維持できず、ますます会員離れを招く悪循環に陥っています。しかし、地域のつながりが希薄になり、子どもの縦社会が消えてしまった今だからこそ、子ども会が持つ役割はより重要といえるのではないのでしょうか。

地縁や神社といった既存のコミュニティを持つ近隣地区と異なり、松風台は自分たちの手ですべてを作り上げてきました。その一つである子ども会がこのまま衰退していくことはあまりにも残念ですし、次世代につないでいくことが私たちの役目でもあります。

今年度からラジオ体操を社協主催にさせていただくなど、すでにご協力をいただいておりますが、今後は自治会全体で子ども会の存続にご支援を賜りたいと思います。

(船越 園子)

畑の安らぎ

宮崎 清

松風台の近くで畑を借りて園芸をやり始めてもう36年たちました。

この間、家が建ったり、盛り土されたりで何度も一から土づくりをやり直してきました。

畑の楽しみは、蒔いた種の生長や収穫にあります。土作りが、土作りに力を入れ良くなつていく実感も劣るものではありません。

また、いろいろな本を読んで実践してみるのですが、天候の影響も大きく、一筋縄ではいかないのもかえって面白いかもしれません。

しかし、ふり返ってみますと会社でのストレスで寝付かれなかったときも、畑の野菜や花を思い浮かべていると、いつの間にか眠りについています。この安らぎこそ畑の最大の恩恵ではないかと今でも思っています。



2	3							
			3					
						1		
3			5					1
	8	2			6	7	9	
5			8	2				
7								
				1				
					1	7		

数独問題

平成23年3月11日の東日本大震災と平成7年1月17日の阪神大震災を基にした問題です。

縦の9列、横の9行、9つあるブロック、2つの対角線のすべてに1から9までの数字が並び、かつ、どの数字についてもブロックごとに数字の位置が異なるという条件が加わります。(4月のほっとサロンで解説の予定)

解答は、4月末までに浅枝宅ポストに入れてください。正解者の中から3名の方に図書カードを差し上げます。(分からないところがあれば浅枝まで)

前回の正解者(敬称略) 岡野、望月、五味、富永、行正、岡本、有元*、高橋、渡部、小塩、河田、川口*、西原*、安田 以上14名 *：図書カード当選者

ホームページ：「松風台自治会」
一度クリックしてみてください。
このキーワードで検索できます。

お知らせ

救急隊員から：

普段飲んでいる薬が、緊急時すぐ分かるように、薬の種類を書いたあなたのおくすりを冷蔵庫の牛乳コーナーに入れておいてください。

湘北地区社協から：

サロンやミニデイ・サービスなど、地域で活動している会やグループの一覧表が自治会館に貼ってあります。参考にしてください。



民生委員の担当区域：

- 有元佳子 1~8(1~11),9,10(1~34)
甘沼 1028(1~3)
- 伊藤和子 8(12~25),11,12,16,17(メイン道路側)
18(1~7,21~27),19,20(1~22)
- 山口正美 10(35~44),13~15,17(9~21)
18(8~20),20(23~28,31~34),21~25

東日本を襲った大震災から1年、映像が流れる度に未だ痛々しい傷跡があららこちらに残り胸が痛みます。
しかし今年もいつも通りに春が訪れました。震災に遭われた方々も心の中に一日も早く春が訪れることを願っています。



(高橋)

編集後記